



# Sun StorEdge™ 3900 および 6900 シリーズ 2.0 ご使用にあたって

---

記憶装置サービスプロセッサバージョン 2.3.1

Sun Microsystems, Inc.  
4150 Network Circle  
Santa Clara, CA 95054  
U.S.A.

Part No. 817-0291-11  
2003 年 5 月, Revision A

コメントの宛先: [docfeedback@sun.com](mailto:docfeedback@sun.com)

Copyright 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品のの一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, UltraSPARC, Solstice Backup, Sun Professional Services は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サン・ロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	<i>Sun StorEdge 3900 and 6900 Series 2.0 Release Notes, Storage Service Processor Version 2.3.1</i> Part No: 816-5254-11 Revision A
-----	---



# Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズ 2.0 のご使用にあたって

---

Sun StorEdge™ 3900 および 6900 シリーズの記憶装置システムは、完全に事前構成された記憶装置ソリューションです。Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズのシステムは、DAS (Direct Attach Storage) および SAN (Storage Area Network) 環境をサポートします。

このマニュアルは、次の節で構成されます。

- 1 ページの「このリリースの機能」
- 2 ページの「製品の変更点」
- 5 ページの「システム要件」
- 8 ページの「既知の問題およびバグ」
- 11 ページの「解決済みの問題およびバグ」
- 12 ページの「リリースマニュアル」
- 14 ページの「サポート情報」

---

## このリリースの機能

Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズのこのリリースでは、記憶装置サービスプロセッサのソフトウェアイメージがバージョン 2.3.1 に更新されます。

Sun StorEdge 3910 および 3960 システムは、ミッドレンジクラスの高性能が要求される市場を対象にしています。Sun StorEdge 6910 および 6960 システムは、ミッドレンジクラスの記憶装置の統合が要求される市場を対象にしています。

Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズのシステムには、次の機能があります。

- 定められた設置場所の範囲内で拡張できる、モジュラー方式の記憶装置構成要素

- サンでのテストおよび事前構成により、Solaris™ オペレーティング環境用に最適化された記憶装置システム
- 単一またはクラスタ化された Sun Enterprise™ および Sun Fire™ サーバーのサポート
- 1 システムあたり 29T バイトを超える動的拡張
- 記憶装置統合のための論理ユニット番号 (LUN) によるセグメント化または切り分け
- 記憶装置統合モデルでの LUN セキュリティーアクセス (マスキング)
- ファイバチャネルインタフェース
- 装置内のデータの高可用性により、所有者のコストを削減
- Enterprise Storage Manager による監視およびサポート

---

## 製品の変更点

このリリースでは、次のソフトウェアの変更が含まれます。

- 構成ユーティリティの更新および記憶装置サービスプロセッサソフトウェアバージョン 2.1.1 のバグ修正。詳細は、『Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズ 2.0 リファレンスおよびサービスマニュアル』を参照してください。
- ホットスペアを使用しない Sun StorEdge T3+ アレイの RAID 構成 (8+1) のサポート
- 1 回の実行でシステム上のすべての構成要素を表示する showall(1M) コマンド
- 互換性のある 2G ビットスイッチのサポート
- 1G ビットの Sun StorEdge Network Fibre Channel Switch-8 および Switch-16 スイッチによる 2G ビット互換ファームウェアのサポート。このファームウェアバージョンでは、フロントエンドスイッチを Sun StorEdge SAN Foundation リリース 4.1 以上に接続する必要があります。
- Storage Automated Diagnostic Environment (SUNWstads) 2.2 のサポート (SUNWstade 2.0 は SUNWstads 2.2 に変更)
- ホストベースの Enterprise Storage Manager (ESM) 1.0 による Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズの監視とサポートの実現

表 1 に、記憶装置サービスプロセッサのソフトウェアの各リリースでサポートされる Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズの機能の概要を示します。記憶装置サービスプロセッサのソフトウェアの各バージョンは、CD に収録されています。また、アップグレード CD によって、Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズのソフトウェアバージョンを次のバージョンにアップグレードすることもできます。たとえば、バージョン 2.0.2 をバージョン 2.0.3 に、バージョン 2.0.3 をバージョン 2.1.1 に、バージョン 2.1.1 をバージョン 2.3.1 にアップグレードできます。

表 1 記憶装置サービスプロセッサの各バージョンでサポートされる機能

機能	バージョン 2.0.2 (2002年2月2日)	バージョン 2.0.3 (2002年5月7日)	バージョン 2.1.1 (2002年6月18日)	バージョン 2.3.1 (2003年3月18日)
Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズでのマルチノードクラスタのサポート			✓	✓
Sun StorEdge 6900 シリーズでの複数ホストのサポート			✓	✓
Sun StorEdge T3+ アレイの LUN スライシングおよびマスキングのサポート (Sun StorEdge 3900 シリーズのみ)			✓	✓
36G バイトおよび 72G バイトのディスクドライブ容量	✓	✓	✓	✓
ディスクドライブ容量の増加 (181G バイトドライブ)		✓	✓	✓
Sun StorEdge T3+ アレイファームウェアバージョン 2.0.1	✓			
Sun StorEdge T3+ アレイファームウェアバージョン 2.1 (ファブリックサポート)		✓	✓	✓
ホットスペアを使用しない Sun StorEdge T3+ アレイの RAID 構成				✓
スイッチファームウェアバージョン 3.04.62 (FC スイッチ FLASH 30462)	✓	✓	✓	✓
Sun StorEdge Network Fibre Channel Switch-8 および Switch-16 (1G ビット) スイッチのファームウェアバージョン 40238 (2G ビット/FC-SW 互換)				✓
Sun StorEdge Network 2 Gbit Fibre Channel Switch-16 によるフロントエンドスイッチのサポート (スイッチのファームウェアバージョンが v1.3.60 または v1.5.07 の 3900 シリーズのみ)				✓

表 1 記憶装置サービスプロセッサの各バージョンでサポートされる機能 (続き)

機能	バージョン 2.0.2 (2002年2月2日)	バージョン 2.0.3 (2002年5月7日)	バージョン 2.1.1 (2002年6月18日)	バージョン 2.3.1 (2003年3月18日)
仮想化エンジンファームウェア バージョン 8.014	✓			
仮想化エンジンファームウェア バージョン 8.017 によるサポート <ul style="list-style-type: none"> <li>• 性能の向上 (8K から 12K)</li> <li>• 入出力を停止しないフェイルバック</li> </ul>		✓	✓	
仮想化エンジンファームウェア バージョン 8.019 によるサポート <ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows 2000 を再起動した際の SVE 確認状態に対する処理の改善</li> <li>• MH10&lt; STATUS の戻り値の修正</li> <li>• SCSI の予約に関する問題の修正</li> </ul>				✓
Sun StorEdge <sup>SM</sup> Remote Response への対応		✓	✓	✓
Sun StorEdge Remote Response のセキュリティの向上		✓	✓	✓
Sun StorEdge SAN 3.2 のサポート		✓	✓	✓
Sun StorEdge SAN 4.0 のサポート			✓	✓
Sun StorEdge SAN 4.1 のサポート				✓
Sun StorEdge SAN 4.2 のサポート				✓
Sun Cluster 3.0 のサポート		✓	✓	✓
スイッチレス構成			✓	✓
コマンド行インタフェースでのすべての SUNWsecfg コマンドの国際化サポート				✓
Storage Automated Diagnostic Environment 2.0 (SUNWstade)	✓	✓	✓	

表 1 記憶装置サービスプロセッサの各バージョンでサポートされる機能 (続き)

機能	バージョン 2.0.2 (2002 年 2 月 2 日)	バージョン 2.0.3 (2002 年 5 月 7 日)	バージョン 2.1.1 (2002 年 6 月 18 日)	バージョン 2.3.1 (2003 年 3 月 18 日)
Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 (SUNWstads)				✓
Solaris 8 オペレーティング環境のホストのサポート (Update 07/01 または Update 10/01、Update 7, 02/02 が必要)	✓	✓	✓	✓
Solaris 9 オペレーティング環境のホストのサポート			✓	✓
Windows 2000/NT および HP、IBM、LINUX でのマルチプラットフォームサポート			✓	✓

## システム要件

この節では、記憶装置サービスプロセッサの完全インストール方法およびアップグレード方法について説明します。

### ▼ バージョン 2.3.1 の完全インストールを実行する

- 詳細は、CD 挿入文書 (Part No. 818-0582-10) を参照してください。

### バージョン 2.3.1 の完全インストール

完全なイメージをインストールするには、Sun StorEdge 3900 または 6900 シリーズのシステムに、完全に動作する記憶装置サービスプロセッサ (Netra™ X1 または Sun Fire V100 システム) が搭載されている必要があります。また、記憶装置サービスプロセッサへは、コンソールを介して接続し、スーパーユーザーでログインする必要があります。ユーザー `cmdadm` が、インストールの対象である記憶装置サービスプロセッサにログインしていないことを確認してください。ユーザー `cmdadm` がログインしていると、アップグレードに失敗します。

記憶装置サービスプロセッサのコンソールに接続してインストールを実行すると、インストール中のすべての再起動およびメッセージが表示されます。

---

**注** - 記憶装置サービスプロセッサの完全インストールを実行する前に、SP\_Image\_CD\_README.txt ファイルの内容をすべてお読みください。

---

あるバージョンの記憶装置サービスプロセッサを完全に復元すると、1つのフラットファイルシステムが1つのパーティションに存在するようになります。**Solaris JumpStart™** ソフトウェアのマウントポイントは、インストールする記憶装置サービスプロセッサイメージを書き込むためのパーティションです。

- **Netra X1** 記憶装置サービスプロセッサでは、**Solaris JumpStart** ソフトウェアがマウントされるデバイスは `/dev/dsk/c0t0d0s7` です。
- **Sun Fire V100** 記憶装置サービスプロセッサでは、**Solaris JumpStart** ソフトウェアがマウントされるデバイスは `/dev/dsk/c0t2d0s7` です。

完全なイメージのインストールに関する一般的な情報は、次のとおりです。

- 新しいイメージの機能を有効にするには、記憶装置サービスプロセッサの設定を完了してから、再起動する必要があります。再起動する前にインストール処理が終了した場合は、もう一度最初からインストール処理を実行する必要があります。
- **Storage Service Processor Full Image CD** を使用すると、最小限の時間で、記憶装置サービスプロセッサのバージョンを別のバージョンに変更できます。
- 使用している記憶装置サービスプロセッサに **CD-ROM** ドライブが構成されていない場合 (**Netra X1**) は、記憶装置サービスプロセッサから **LAN** 経由で **CD** にアクセスできる必要があります。インストール情報については、**CD** 挿入文書を参照してください。
- アップグレード **CD** が使用できない場合には、**Storage Service Processor Full Image CD** を使用するとアップグレードできます。ただし、この方法では、以前の構成情報は考慮されません。
- インストールを実行する前に、必要に応じて、記憶装置サービスプロセッサから次のファイルのバックアップコピーを作成します。
  - `/etc/shadow`
  - `/etc/passwd`
  - `/etc/inet/hosts`
  - `/etc/ethers`
  - `/etc/nsswitch.conf`
  - `/etc/groups`

次の注意点は、すべてのバージョンの完全インストールに適用されます。

- インストールは、記憶装置サービスプロセッサを再起動するまで、現在のオペレーティングレベルに対して有効になりません。
- **Solaris JumpStart** ソフトウェアのファイルシステムでは、パーティション7にインストールされます。これは、一時的な起動パーティションとなります。

- ソリューションシステム内の個々の構成要素のバージョンを、記憶装置サービスプロセッサイメージのバージョンに一致させるには、各構成要素の指示に従って、手動でアップグレードまたはダウングレードする必要があります。
- カスタム変更は、インストール後に手動で実行する必要があります。

## ▼ バージョン 2.3.1 にアップグレードする

- 詳細は、CD 挿入文書 (Part No. 818-0584-10) を参照してください。

### バージョン 2.3.1 へのアップグレード

アップグレードを実行するには、記憶装置サービスプロセッサのコンソールを介して接続し、スーパーユーザーでログインする必要があります。ユーザー `cmdadm` が、アップグレードの対象である記憶装置サービスプロセッサにログインしていないことを確認してください。ユーザー `cmdadm` がログインしていると、アップグレードに失敗します。

---

**注** – 記憶装置サービスプロセッサのアップグレードを実行する前に、`README_Upgrade.txt` ファイルの内容をすべてお読みください。

---

ビルド番号 2.3.1 での変更点については、CD に収録されている `/cdrom/cdrom0/jass-0.3/Files/export/README.txt` ファイルを参照してください。このアップグレードでは、バージョン 2.1.1 または 2.1.2、2.1.3、2.1.4 の記憶装置サービスプロセッサがインストールされていることを想定しています。バージョンを確認するには、記憶装置サービスプロセッサにログインし、次のように入力します。

```
msp0# cat /etc/motd
```

このコマンドへの応答として、記憶装置サービスプロセッサのバージョンが 2.1.1 または 2.1.2、2.1.3、2.1.4 であることが表示されます。ほかの応答が表示された場合は、アップグレードを実行しないでください。

アップグレード処理に関する注意点は、次のとおりです。

- アップグレードを実行すると、アップグレード情報が `/export/README.txt` ファイルに格納されます。
- 新しい機能を有効にするには、記憶装置サービスプロセッサを再起動する必要があります。再起動する前にインストール処理が終了した場合は、システムを以前のバージョンに復元してから、アップグレードを再開する必要があります。

- このインストールを実行するには、コンソールポートからスーパーユーザーで記憶装置サービスプロセッサにログインする必要があります。また、`cmdadm` でログインしているユーザーが存在しないことを確認する必要があります。ユーザー `cmdadm` がログインしていると、アップグレードに失敗します。
- アップグレード時に、`/var/tmp/2.3.1-upgrade.log` という名前のログファイルが作成されます。
- アップグレードスクリプトによって、`/etc/shadow` および `/etc/passwd`、`/etc/inet/hosts`、`/etc/ethers`、`/etc/nsswitch.conf`、`/etc/groups` のバックアップコピーが作成されます。これらの各ファイルのバックアップは、`filename.2.3.1.upgrade.bak` というファイル名で、元のファイルと同じディレクトリに保存されます。この場合、`filename` は元のファイル名で、必要に応じて拡張子も含まれます。このバックアップファイルは、サイト固有の構成情報を復元するときに使用されます。
- 継続的にユーザーの入力が必要となるため、アップグレードスクリプトの実行中は、不在にしないでください。

---

## 既知の問題およびバグ

この節では、Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズの 2.0 リリースに関連する、既知の問題およびバグについて説明します。

### 既知の問題

Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズの 2.0 リリースに関連する既知の問題はありません。

### バグ

次に、Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズ 2.0 システムに関連するバグの中で、優先度が 1、2、3 のものについて説明します。バグ ID 番号のあとの括弧内には、バグの優先度 (Priority) および重要度 (Severity) を示します。

- **バグ 4827927 (P1/S3)** : 既存システムを 8.017 の評価バージョン #1 から製品バージョンの 8.018 または 8.019 にアップグレードすると、仮想化エンジン `sliczones` が表示されなくなり、データにアクセスできなくなります。  
**回避策** : バグ 4658578 での回避策を実行します。
- **バグ 4810681 (P1/S3)** : Sun StorEdge T3+ アレイディスクのダウンロードファームウェアバージョン A538 によって障害が表示されます。

**回避策：**アップグレード中の Sun StorEdge T3+ アレイの Storage Automated Diagnostic Environment の監視を中断します。ファームウェアのアップグレードが完了したら、Storage Automated Diagnostic Environment の監視を再開します。

- **バグ 4671617 (P2/S2)：**仮想化エンジンデーモンは、終了処理後も処理されずに残るため (ID 0 のセマフォ)、再起動できません。これは、sdshutdown(1) コマンドを使用して終了処理を開始した場合に発生します。次に、この状態になった場合にサービスプロセッサに表示されるメッセージの例を示します。

```
host# Error initializing semaphore for error logging
      semget: File exists
The semaphore already exists and/or the SLIC daemon 'slicd' is
already running
```

**回避策：**『Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズ 2.0 障害追跡の概要』の第 9 章「slicd デーモンの再起動」に記載されている指示に従って、cmd ipcrm を実行して共有メモリーセマフォアを削除します。

- **バグ 4674107 (P2/S2)：**1 つの仮想化エンジンペアで 16 のディスクプールペアを作成すると失敗します。

**回避策：**ディスクプールペアの数は、仮想化エンジンペアごとに 15 に制限されています。

- **バグ 4818820 (P2/S2)：**Sun StorEdge Traffic Manager ソフトウェア (mpxio) の autofailback が、正常に動作しません。

**回避策：**luxadm フェイルオーバーを手動で実行します。

- **バグ 4699810 (P2/S2)：**Hewlett-Packard HP-UX 11.0 で、ボリュームセットのアドレッシングメソッドを使用しているドライバは、LUN 7 を超えると認識できません。

**回避策：**HP-UX ボリュームマネージャーを使用して、VLUN 0 ~ 7 を複数のボリュームにスライスします。これによって、LUN を作成した場合と同様の結果を得ることができます。

- **バグ 4756368 (P2/S2)：**Sun StorEdge Network 2 Gbit Fibre Channel スイッチを使用すると、ホストから Sun StorEdge 6900 シリーズの新しい VLUN が認識できません。

**回避策：**luxadm -e forcelpip で接続をリセットして、Sun StorEdge Network 2-Gbit Fibre Channel スイッチを回復させるか、スイッチのファームウェアをバージョン v1.5.0 以上にアップグレードします。

- **バグ 4666764 (P2/S3)、4633323 (P3/S3)、4666199 (P3/S3)：**sdnld コマンドを使用して仮想化エンジンのファームウェアをアップグレードすると、ファームウェアのダウンロードが正常に終了しないことがあります。

**回避策：**『Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズ 2.0 リファレンスおよびサービスマニュアル』に記載されている指示に従って、仮想化エンジンのファームウェアをアップグレードします。

- **バグ 4785757 (P2/S3)：** Sun StorEdge T3+ アレイで `reset -y` コマンドを実行すると、アレイの LUN アクセス権および WWN (World Wide Name) グループが表示されなくなります。

**回避策：**この問題を解決するには、`telnet(1)` セッションからマスターコントローラを使用不可にし、フェイルオーバーの発生を許可したあとで、コントローラを再び使用可能にします。これによって、アクセス権およびグループが再び表示されます。Sun StorEdge T3+ アレイのフェイルバックを行うには、リセットする必要があります。また、アレイの適切なデータパスを完全に回復するためにも、ホストをリセットする必要があります。

- **バグ 4648206 (P2/S5)：** F ポートを停止できません。

**回避策：** VERITAS Dynamic Multi-Pathing (VxDMP) ボリュームマネージャーを使用不可にします。

- **バグ 4698596 (P3/S3)：** イニシエータの数が 32 を超えると、仮想化エンジンからエラーが返されなくなります。

**回避策：** 32 を超えるイニシエータが、仮想化エンジンにログインしないようにします。

- **バグ 4696353 (P3/S4)：** `slicd(1M)` コマンドによって、終了したプロセス (ゾンビプロセスともいう) が生成されます。

**回避策：** `/etc/rc2.d/S98slicd` コマンドを使用して、`slicd` を停止してから再起動します。

- **バグ 4821351 (P3/S4)：** `config_solution(1M)` コマンドを実行すると、Storage Automated Diagnostic Environment のデバイス監視機能が、Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズのデバイスを表示しなくなります。

**回避策：** `config_solution` コマンドの実行後、`ras_install(1M)` コマンドを実行してから `config_solution` コマンドを再び実行します。

## セキュリティに関する注意事項

- Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズでは、出荷時にスーパーユーザーのパスワードは設定されていません。
- `root` でログインできるのは、記憶装置サービスプロセッサのコンソールポートのみです。今回のバージョンのソフトウェアでは、`telnet(1)` セッションを介してログインできるように、一般的な保守用ログインが提供されています。`root` に代わる新しいログインは `cmdadm` で、ログインパスワードは `sun1` です。遠隔アクセスに影響するため、このパスワードは変更しないでください。必要な場合は、記憶装置サービスプロセッサにログインして、`su(1M)` を使用して `root` に切り替えることができます。

- Sun StorEdge 6900 シリーズのシステムでは、古いバージョンの VERITAS VxVM を使用している場合、仮想化エンジンによってデバイスの命名に関する問題が発生する場合があります。このため、Sun StorEdge 6900 シリーズのシステムでは、パッチ 111909-04 以上が適用されたパッチレベル 1 の VERITAS VxVM バージョン 3.2 およびパッチ 112392-04 以上が適用された VERITAS VxVM バージョン 3.5 のみがサポートされています。

---

## 解決済みの問題およびバグ

この節では、以前のマニュアルに記載された問題およびバグの中で、解決済みのものについて説明します。

その他の解決済みの問題およびバグの一覧は、Storage Automated Diagnostic Environment および Solaris オペレーティング環境に関連するリリースノートを参照してください。

次に、Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズ 1.1 のリリース後に解決されたバグの中で、優先度が 2 および 3 のものについて説明します。バグ ID 番号のあとの括弧内には、バグの優先度 (Priority) および重要度 (Severity) を示します。

- **バグ 4727658 (P2/S2)** : `restoret3config(1M)` コマンドで ALL オプションを指定すると、LUN マッピングおよびマスキングの復元に失敗する場合があります。
- **バグ 4728952 (P2/S2)** : Ethernet がオフラインになると、仮想化エンジンユーティリティーがハングアップする場合があります。
- **バグ 4758500 (P2/S3)** : `restoret3config(1M)` コマンドが、`lun10` 以上のアクセス権の復元に失敗します。
- **バグ 4790115 (P3/S2)** : 同じホストバスアダプタ (HBA) が両方の仮想化エンジンのゾーンデータベースに存在すると、`showvemap(1M)` が文字化けします。
- **バグ 4691480 (P3/S3)** : Storage Automated Diagnostic Environment を使用すると、Sun StorEdge 3900SL および 6910SL、6960SL シリーズのスイッチレスモデルに対して一部の構成ユーティリティーセクションが動作しません。
- **バグ 4697033 (P3/S3)** : Storage Automated Diagnostic Environment で、`createvlnun -z` コマンドによってゾーンを指定して複数の VLUN を作成すると、コマンドはゾーンに VLUN を追加しないで実行されます。つまり、`-z` オプションが無視されます。
- **バグ 4692285 (P3/S3)** : サイトにネームサーバーゾーンが構成されている場合、スイッチ `sw2a` で `setupswitch(1M)` コマンドが失敗します。
- **バグ 4725571 (P3/S3)** : 1 つの仮想化エンジンが停止状態にあると、`startslicd(1M)` コマンドが失敗する場合があります。
- **バグ 4770426 (P3/S3)** : スイッチのフラッシュが古い場合には、`restoreswitch(1M)` コマンドによって `swmn.map` ファイルが上書きされます。

- バグ 4773566 (P3/S3) : `vezone` への `runsecfg(1M)` コマンド (VLUN の追加) が、ユーザーが選択したゾーンに対して実行されません。
- バグ 4676641 (P3/S3)、4699058 (P4/S3) : Storage Automated Diagnostic Environment のバージョンチェック機能を使用して、Sun StorEdge T3+ アレイのファームウェアバージョンをチェックすると、不正な情報が報告されます。
- バグ 4666611 (P3/S4) : Sun Ray™ 環境で Netscape などのブラウザを使用して SAN トポロジを表示すると、エラーが表示されて、トポロジの構築に失敗します。
- バグ 4763526 (P3/S4) : `restorevemap(1M)` コマンドでは、モデルタイプをチェックする必要があります。
- バグ 4688312 (P3/S4) : パラメタを指定せずに `modifyt3params(1M)` コマンドを実行すると、ロックファイルが残ります。
- バグ 4671151 (P3/S4) : Storage Automated Diagnostic Environment のバージョン 2.0.6.010 では、「Monitor」の「Devices」セクションに各仮想化エンジンのホストバスアダプタ (HBA) の数が誤って報告されます。
- バグ 4669397 (P3/S5) : Sun StorEdge T3+ アレイがフル構成されていない Sun StorEdge 6900 シリーズのシステムで、Storage Automated Diagnostic Environment の `config_solution` コマンドを使用すると、システムがアレイの IP アドレスに ping を実行できないという警告メッセージが表示されます。
- バグ 4763353 (P3/S5) : ファームウェアレベル 2.01.00 で `enablet3slicing(1M)` コマンドを実行すると失敗します。

---

## リリースマニュアル

Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズのシステムのマニュアルは、オンラインで提供されます。また、すべての構成ユーティリティーのオンラインマニュアルページも参照できます。

マニュアルは次の URL から入手できます。

<http://docs.sun.com> (英語版)

[http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Network\\_Storage\\_Solutions/Solutions\\_Products](http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Network_Storage_Solutions/Solutions_Products) (英語版および各国語版)

### ▼ docs.sun.com からマニュアルをダウンロードする

1. ブラウザのウィンドウを開きます。

2. 次の URL を入力します。

<http://docs.sun.com>

3. 検索文字列フィールドに 3900 または 6900 を入力して、「マニュアルタイトルから検索」オプションの横のボックスをクリックします。  
次の一覧を参照して、Part No. によってマニュアルを検索することもできます。

Part No.	タイトル
816-5252-11	『Sun StorEdge 3900 and 6900 Series 2.0 Installation Guide』
816-5253-11	『Sun StorEdge 3900 and 6900 Series 2.0 Reference and Service Manual』
816-5256-11	『Sun StorEdge 3900 and 6900 Series 2.0 Site Prep Guide』
816-5257-11	『Sun StorEdge 3900 and 6900 Series 2.0 Regulatory and Safety Compliance Manual』
816-6757-12	『Sun StorEdge 3900 and 6900 Series 2.0 Start Here』
818-0582-10	『Network Storage Service Processor Full Image CD Version 2.3.1』
818-0584-10	『Network Storage Service Processor Image Upgrade 2.3.1』
817-0194-10	『Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 System Edition Release Notes』
817-0823-10	『Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 Device Edition Release Notes』
817-0192-10	『Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 System Edition』
817-0822-10	『Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 User's Guide』

4. 「実行」をクリックして、検索を開始します。  
検索結果として、関連マニュアルのタイトルのリンクが表示されます。
5. マニュアルタイトルのリンクのいずれかをクリックします。
6. 「PDF ファイルのダウンロード」リンクをクリックします。  
マニュアルタイトルと PDF ファイルへの関連するリンクが表示されます。
7. 希望するダウンロード方法のリンクをクリックします。  
Netscape ブラウザで PDF が表示されるように設定している場合は、リンクをクリックすると、PDF 形式のファイルがブラウザに表示されます。

---

参考 – PDF ファイルをホームディレクトリにダウンロードするには、リンクにカーソルを位置付けて、Shift キーを押しながら左クリックします。

---

日本語を含む各言語に翻訳された Sun StorEdge 3900 および 6900 シリーズのマニュアルは、次の URL から入手できます。

[http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Network\\_Storage\\_Solutions/](http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Network_Storage_Solutions/)

---

## サポート情報

この製品のインストールまたは使用方法については、ご購入先に問い合わせるか、次の URL で参照してください。

<http://www.sun.com/service/contacting/index.html>